

## アンケート調査票の構成

※7ミ掛けは打ち手に関する設問

資料 4

調査票の種類	①18歳以上の手帳所持者	②18歳未満の手帳所持者の保護者	③一般市民	④児童・放火利用者の保護者	関連する施策
サンプル数(見込)	3,700	400	1,670	530	
項目	設問	設問	設問	設問	
回答者について	・記入した方 ・年齢 ・住んでいる地域 ・手帳の種類と等級 ・障がいの内容	・年齢 ・住んでいる地域 ・手帳の種類と等級 ・障がいの内容 ・日中の通学・通園先 ・在籍している学級	・年齢 ・住んでいる地域 ・福祉への関心とその理由	・住んでいる地域 ・年齢 ・在籍している学級 ・発達面で課題がある内容	
住まいや暮らしについて	・暮らし方 ・家族と暮らす理由 ・平日日中の過ごし方 ⇒自宅で過ごす方の過ごし方 ・買物の頻度 ・買物の移動手段 ・買物支援で希望すること				【基本目標②-2】 自立や社会参加の推進  【基本目標③-3】 「誰もが行ける・使える」ユニバーサルデザインの推進
教育について		・インクルーシブ教育への意識 ・特性に応じた対応を感じるか ・不登校の経験 ⇒不登校の理由 ・想定する将来の進路 ・学校等に希望すること	・インクルーシブ教育への意識	・インクルーシブ教育への意識 ・特性に応じた対応を感じるか ・不登校の経験 ⇒不登校の理由 ・優先して取り組んでほしいこと	【基本目標①-2】 教育における支援の充実
外出について	・移動で困ること ・外出先で困ること ・市に希望する取組	・子連れでの移動手段 ・移動で困ること ・外出先で困ること ・優先して取り組んでほしいこと	・外出で市が取組べき支援		【基本目標③-3】 「誰もが行ける・使える」ユニバーサルデザインの推進
社会参加について	・参加した社会活動の内容 ・参加を容易にするため必要なこと		・障がい者とかかわった場所 ・困っている人がいた場合の対応 ・障がい者関連の商品の購入経験 ・障がい者施設の販売活動の認知 ・参加してみたい催し ・共生社会推進の受け止め方 ・地域にGHができることへの意識 ・社会参加するために必要なこと		【基本目標②-2】 自立や社会参加の推進
災害時の対応について	・近所での手助けの有無 ・積極的に避難所に行くか ⇒自宅とどまる理由 ・避難所で心配なこと ・医療機器使用の有無 ⇒停電時の備えの有無 ・不安解消のため希望する取組	・近所での手助けの有無 ・積極的に避難所に行くか ⇒自宅とどまる理由 ・避難所で心配なこと ・医療機器使用の有無 ⇒停電時の備えの有無 ・不安解消のため希望する取組	・避難所での生活で困ること ・不安解消のため市に希望する取組	・近所での手助けの有無 ・積極的に避難所に行くか ⇒自宅とどまる理由 ・不安解消のため市に希望する取組	【基本目標③-4】 「もしもの時」の安心につながる支援の充実
就労について	・現在の働き方 ⇒働いていない理由 ・収入の月額平均 ・自由に使えるお金の平均 ・職探しで重視する点 ・就職しやすくなる支援について ・働き続けるために必要なこと		・雇用促進法の認知 ・雇用促進に必要なこと		【基本目標②-1】 障がいのある方の就労支援の強化
保護者について		・子育てについて相談する人 ・子育てでストレスを感じる頻度 ・保護者の就労制限の状況 ・きょうだいの影響 ・緊急時の預け先の有無 ・ストレス軽減に必要な支援		・子育てについて相談する人 ・相談しやすい窓口とは ・子育てでストレスを感じる頻度 ・どんな特性にストレスを感じるか ・ペアレント・トレーニングの受講経験 ・保護者の就労制限の状況 ・きょうだいの影響 ・緊急時の預け先の有無 ・ストレス軽減に必要な支援	【基本目標①-3】 子育ての悩みに寄り添う窓口の充実
療育の利用について				・療育の必要性を知るきっかけ ・療育で伸ばしたいこと ・成長や変化の実感 ・療育先のスタッフの専門性 ・事業所の利用まで要した期間 ・事業所の利用までに苦労した点 ・療育先の選定で重視する点 ・今後利用したい事業所の特徴 ・配置を望む専門職の種類 ・事業所情報の入手先 ・現在の通所日数 ⇒利用を休止している理由 ・今後の通所日数の増減見込 ・市外の事業所を利用する理由	【基本目標①-1】 魅力ある療育体制の整備
医療について	・通院の頻度 ・通院の移動手段 ・健康管理や医療で望む支援	・通院の頻度 ・通院の移動手段 ・健康管理や医療で望む支援			【基本目標③-4】 「もしもの時」の安心につながる支援の充実
障がいへの理解について	・虐待防止法の認知 ・差別解消法の認知 ・手話施策推進法の認知 ・周囲の人の障がいへの理解 ・1年以内に差別偏見を感じた場面 ⇒差別や偏見の内容 ・障がいへの理解を深める取組	・虐待防止法の認知 ・差別解消法の認知 ・手話施策推進法の認知 ・周囲の人の障がいへの理解 ・1年以内に差別偏見を感じた場面 ⇒差別や偏見の内容 ・障がいへの理解を深める取組	・障がいについて学んだ機会 ・虐待防止法の認知 ・差別解消法の認知 ・手話施策推進法の認知 ・手話施設推進法の認知 ・シンボルマークの認知 ・障がいへの理解を深める取組	・理解が無い対応をされた場面	【基本目標②-3】 共生社会構築のための理解の醸成
情報や相談について	・福祉の情報の入手先 ・情報を得るために困ったこと ・情報入手で希望すること ・現在や将来に不安を感じる ・3年以内に相談した機関の有無 ⇒相談していない理由 ・相談しやすい窓口とは ・電子申請の利用の意向	・福祉の情報の入手先 ・情報を得るために困ったこと ・情報入手で希望すること ・現在や将来に不安を感じる ・3年以内に相談した機関の有無 ⇒相談していない理由 ・相談しやすい窓口とは ・電子申請の利用の意向			【基本目標③-2】 相談支援や福祉サービスの充実
障がい者施策について	・バリアフリーが必要な場所と内容 ・優先して取り組んでほしい施策 ・自由意見	・バリアフリーが必要な場所と内容 ・優先して取り組んでほしい施策 ・自由意見	・バリアフリーが必要な場所と内容 ・優先して取り組んでほしい施策 ・自由意見	・自由意見	全体

調査票の種類	⑤障害福祉サービス事業所	関連する施策
サンプル数(見込)	70	
項目	設問	
事業所の種別	・提供しているサービスの種類	
需要	・3年間の利用希望者の推移見込	
人材	・人員の充足度 ⇒人手不足による提供への影響 ・今後採用を検討する人材 ・採用や離職防止に重要な点 ・人材採用のため求める支援	【基本目標③-2】 相談支援や福祉サービスの充実
サービスの課題	・サービス提供における課題 ⇒市に求めたい支援 ・利用者の課題や悩み	
災害対策	・事業所で備えていること ・市に求めたい支援	【基本目標③-4】 「もしもの時」の安心につながる支援の充実
障がいへの理解	・地域理解のために必要なこと	【基本目標②-3】 共生社会構築のための理解の醸成
障がい者施策	・自由意見	全体
療育	・今年度の空き状況 ・受入を増やことの可否 ⇒市に求めたい支援 ・専門職の採用予定 ・専門職採用における課題 ⇒市に求めたい支援 ・子連れに取り組んでほしいこと	【基本目標①-1】 魅力ある療育体制の整備